

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合
 ('07AH1(TCF9783)・AH2(TCF9793)・AH3(TCF9793Y)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル一覧*をご確認ください。

*アフターサポート期間が終了したため、ラベルの発注はできません。

2. 連立トイレの配置例

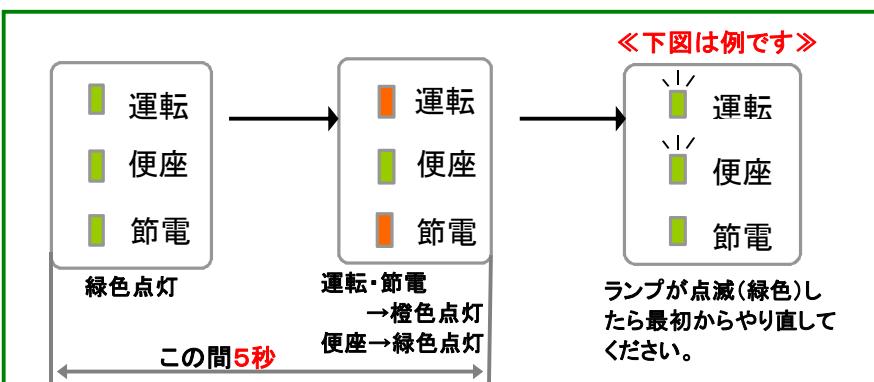
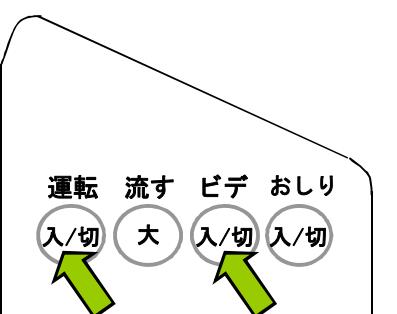
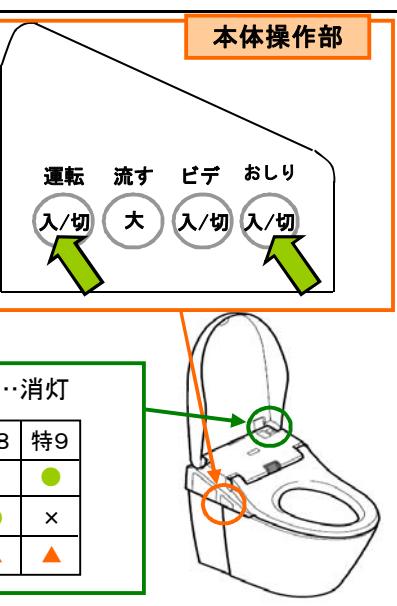
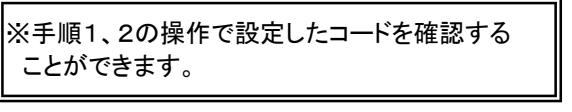
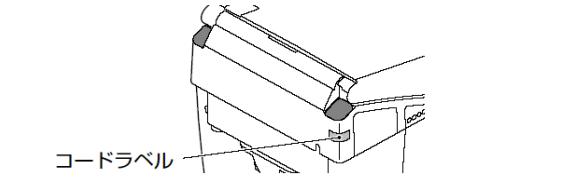
正規品	～タ 特イ 1 ブ ～1	～タ 特イ 2 ブ ～2	正規品	～タ 特イ 1 ブ ～1	～タ 特イ 2 ブ ～2
～タ 特イ 3 ブ ～3	～タ 特イ 4 ブ ～4	～タ 特イ 5 ブ ～5	～タ 特イ 3 ブ ～3	～タ 特イ 4 ブ ～4	～タ 特イ 5 ブ ～5

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

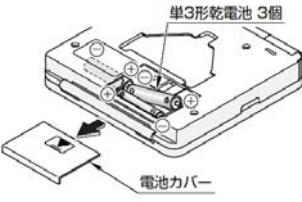
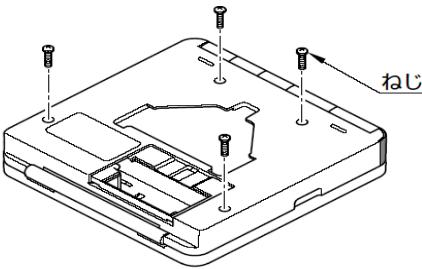
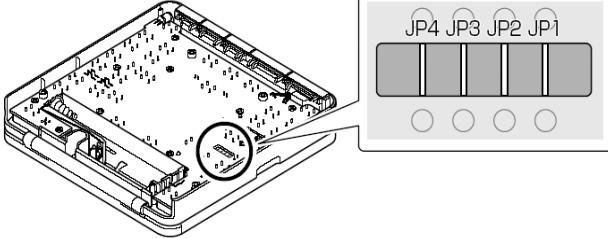
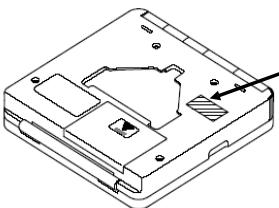
※設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。(有償)

※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)
	<p>※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。</p> <p>運転 本体操作部の  を10秒以上押し続ける</p> <p>⇒10秒後に全てのランプが5秒間点灯します。</p> <p>1</p> <p>1 </p>
2	<p>運転 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、</p> <p>ビデ すぐに 入/切 を5秒以上押す。</p> <p>5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。</p> <p>2 </p>
3	<p>※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。</p> <p>運転 入/切 を押したまま、 おしり 入/切 を押す。</p> <p>おしり 入/切 を押す度に標準→特1→特2…特9→標準</p> <p>と設定が切り替わります。</p> <p>3 </p>
4	<p>※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。</p> <p>運転 入/切 から手を離した時点で設定したコードになる。</p> <p>4 </p>
5	<p>ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> <p>5 </p>

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																							
1	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>②「止」スイッチを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">ご注意!!</p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div> 																																																							
2	 <p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではさし、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえない ように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らない ように注意してください。</p> </div> <p style="text-align: center;">◎:つながったまま ×:切斷</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>コード ジャンパー線</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパーで切斷することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード ジャンパー線	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード ジャンパー線	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																														
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																							
5	 <p>例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの 本体のみを操作できます。</p> </div> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)